

日刊 動労千葉

82.10.29 No.1182

千葉市要町二一八(動力車会館)
鉄電二九三五六・(公衆電話)三三二七二〇七

10月26日より「三六破棄・非協力闘争」新ワッペン行動に突入

◆◆◆◆◆
動労千葉は十月二十六日、第一回支部代表者会議を開催し、「画期的地平を切りひらいた」十月三里塚―反戦・反核総決起行動」の大成を確認すると共に、当面する「57・11ダイ改阻止・現協協約改悪粉砕をはじめとする闘い」「仲裁・定完全実施をかちとるための、全一日ストライキの実現」を含む秋季一年末闘争の基本的方針と「船橋市議選・中江候補必勝」にむけた取り組みについて満場一致決定した。

千三百の総決起がかちとった
十月反戦行動の画期的成功！
――総括――

会議はまず第一に、十月三里塚―反戦・反核総決起行動の画期的成功について、がっちり確認した。

十・一一三里塚現地集会への全国から一三五〇名という大結集は、政府・空港公団・権力・革マルの四位一体となった成田用水Ⅱ第二同盟づくり、北原事務局長追いや落しを狙った事実無根の謀略的デマ攻撃を、もののみごとに粉砕し、二期阻止へむけた前進をかちとった。

そしてなによりも、わが動労千葉が、十・一一三里塚現地集会を、国鉄労働運動解体攻撃に反撃していく突破口と位置づけ、第七回定期大会以降、総力をあげてとり組んだ結果、降りしきる雨とぬかるみの悪条件にもかかわらず四五〇名の大動員を実現したことである。

これは、57・11ダイ改、貨物・検修合理化阻止を中心とする秋年闘争の突破口を確実に切りひらくとともに国労の仲間一五〇名も共に決起し、闘う労組隊列(「労組連」)三千五〇〇名というかつてない数の決起を通し、「反合・三里塚を基軸に闘う労働運動」路線の大きな物質化をかちとったといえる。

ここに、国鉄労働運動の戦闘的再生をかちとる一切のカギがあることを確信し、更にこの道を力強く前進していくのではないか。

秋季年末闘争の爆発は不可避だ！ ――情勢――

こうした上になつて、支部代表者会議は、最近の特徴的情勢について検討し、認識の一致をかちとった。

鈴木退陣と自民党総裁後継をめぐる事態は、外交・軍事・内政等すべてにわたる深刻な行きづまりと破綻によって生じた事態であり、日帝の体制的危機の深刻化とより一層の凶暴化への道を示すものである。

体制的危機からの「脱出」をとあがく政府・支配者階級は、安保強化をテコとする軍事大国化―侵略戦争政策をすすめる一方で、労働者人民に犠牲を転嫁する反動攻勢を強めている。

とりわけ、人勧凍結Ⅱ仲裁々定凍結の攻撃と行革Ⅱ臨調攻撃は、国鉄労働運動解体を最大の焦点に、「民営・分割」をどう喝材料にしながら「緊急十一項目」の問答無用の強行、「国鉄再建監理委員会設置法案」の今秋国会上程として策動されている。

今日、国鉄当局は「国鉄非常事態宣言」にもとづき「緊急対策推進本部」を設置し、「職場規律の厳正」をたてとして処分攻撃を乱発し、リボン・ワッペンの規制、入浴時間の規制を中心に攻撃を強めてきている。千葉局でもワッペン行動の規制、立看板の撤去通告を開始した。

動労「本部」革マルの逃亡・敵対を粉砕して、全一日ストを実現しよう！ ――方針――

こうした状況の中で、公労協は十月十五日、仲裁々定完全実施へむけ「三六破棄、国会山場での全一日ストライキ等の方針を決定し、これを受けた十・二一総評臨時大会も「全一日ストライキ」の方針を決定し、全労働者の怒りは今まさにせきを切って流れ出そうとしている。

秋年闘争の爆発が不可避となる情勢の中で、ただひとり動労「本部」革マル反動分子のみが、「今は冬の時代だ」「ストをうてば弾圧されるだけ」「黙って働き度の高めよ」とさげんで、当局の先兵の本領を発揮して、官民全一日ストの圧殺に奔走しているのだ。

当面の具体的取り組みの二大基軸

- [I] 当面の最大の取り組みは、【57・11ダイ改阻止と現協協約改悪粉砕】を軸に闘う。具体的には、
 - ① 57・11ダイ改阻止闘争は、十月二十六日以降、三六協定破棄をもって組合要求の前進をはかる。
 - ② 現協協約改悪粉砕の闘いは、団交・現協で当局を追及し、一方的改悪を許さず、協定期限切れ前に「公労委調停申請」をも考慮して取り組む。
 - ③ ワッペン行動への規制に対し、全組合員の統一した行動ではね返す。
 - ④ 検修合理化阻止の闘いは、57・11ダイ改とセットの当局提案を切り離し、十一月十五日以降先送りしたが、支部検・修分科との連携を密に、組合要求提出をもって対処。
 - ⑤ 仲裁々定完全実施要求の闘いは、総評方針の全一日ストライキの実現と全国的決起をかちとるべく、宣伝・組織活動を展開する。
- [II]
 - ⑥ 11月下旬に第五回臨時委員会を開催する。
 - ⑦ 【中江候補必勝にむけた取り組み】を次の通り行う。
 - ① 10・12～30 「一人5票獲得」運動実施中。
 - ② 11・10～25 「第一次統一行動」
 - ③ 12・13～29 「第二次統一行動」
 - ④ 11・23と28 「総行動日」
 - ⑤ 11・11又は13 「中江昌夫を励ます集い」
 - ⑥ 12月 中 「船橋在住組合員との座談会」

第一回支部代は以上の方針のもと全力をあげて闘うことを決定し終了した。10月総決起行動の圧倒的成果をふまえて、11月～12月総行動に確信高くつき進んでいこう！！

訂正とおわび

『日刊』第一一八号記事、10・24反核大阪50万人集会での発言者氏名の一部に誤りがありましたので、おわびして訂正いたします。正しくは、「反靖国をたたかう戸次(べっき)氏」です。